

どこで靴をはきまえますか？ 行為から検討する園舎の設計

株式会社京都建築事務所 富永斉美

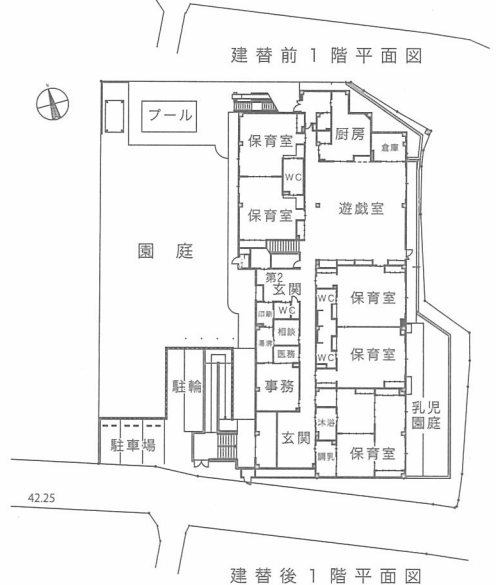
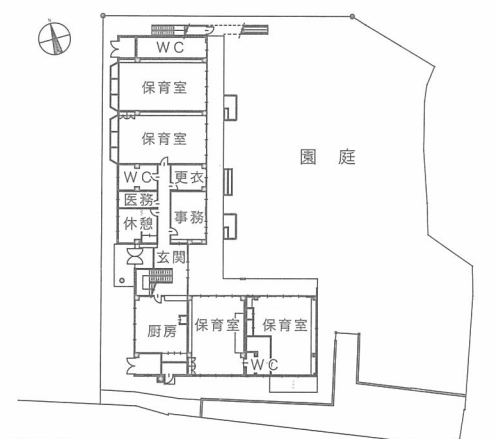
第15回

一昨年秋に行われた滋賀県守山市の浮気（ふけ）保育園の一般公募コンペの公開プレゼンテーションを聴きに行った時のことです。公立の保育園の設計としては珍しい一般公募型コンペで、全国から129の応募があり、事前審査を経て選ばれた最終案5案の発表の場でした。それだけで作品と言えるような緻密な模型や、丁寧に検討を重ねられた提案書を拝見し、参加者の熱い思いを感じました。（*1）プレゼンテーションの後に行われた質疑応答は、主に意匠・構造・設備など建築の専門的な質問から概念的な話題を中心に進んでいきました。一般の方には難解な質疑と回答が続いた中で、審査員のお一人の建築系の学識経験者の方が、「どこで靴をはきかえますか？」と質問されたことに、とても興味を持ちました。

一見シンプルで誰にでも問うことができる「どこで靴をはきかえますか？」という質問は、保育園を設計する中でもとても大切で、最初に検討したい内容です。その方針によって各室の配置が大きく変わることもあります。

保育園や幼稚園で「靴をはきかえること」は、一日に何回もあります。朝夕の送迎、お散歩や行事。園児、保護者、保育士、来客、調理室への出入りなど、それぞれの動きをどのように考えるかは、各園の方針によって異なり、答えは一つではありません。気候や季節により場所を変えることもあります。

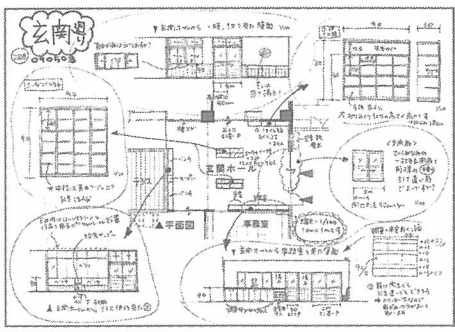
ここでは、「どこで靴をはきかえますか？」について、私たちが設計した事例をご紹介します。どのような検討を経たのかについて説明します。



▲T保育園建替前後平面図

はきかえの場を交流の場にも — S保育園(2010年竣工) —

この保育園もT保育園同様に、登下園時に全員玄関で靴をはきかえる平面計画です。この園では、玄関を「靴をはきかえる」場所だけでなく、事務室と隣接した交流の場として設けることとし、ゆったりとした広さを確保しました。給食の展示コーナーや保護者同士または保育士と会話を交わすことができるベンチも設けました。切妻形状の高さのある天井、外部に面した妻面にステンドグラスを配した特徴のある空間です。靴をはきかえる行為を行う場を、交流の場として設けた事例です。

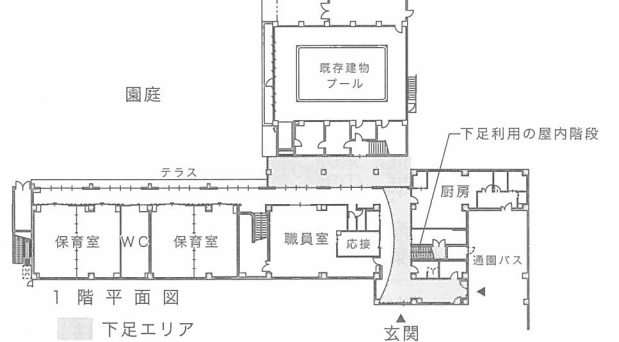
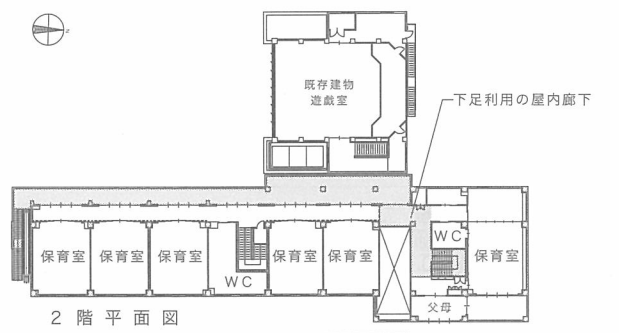


▶玄関まわりの提案書
「玄関まわりをどんな空間にしたいか」スケッチ等の資料を作成し打合せを重ねました

はきかえは各室前で混雑解消 — S幼稚園(2012年竣工) —

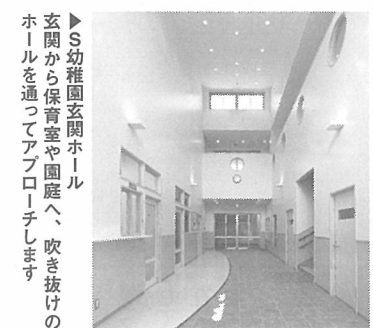
幼稚園の増築事例です。前面道路から園舎をはさんで園庭や屋内プール・遊戯室棟があるゾーニングです。既存の園庭・屋内プール・遊戯室棟を残し、既存園舎を解体し、同じ位置に新園舎を増築しました。3歳児が1階、4・5歳児が2階の構成です。

3歳児は、玄関ホールを通過し、いったん園庭に出てからテラスで靴をはきかえます。天候



▲S幼稚園各階平面図

によつては、玄関ホールで靴をはきかえることもできます。4・5歳児は、下足のまま玄関ホール横の内部階段を上り、それぞれの保育室前のテラスで靴をはきかえます。



靴をはきかえる場所を各保育室の前とし、玄関ホールを下足のままスルーできる平面計画のため、園児たちが一斉に外部に出る時の混雑を避けることができ、行事の際の保護者の動きもスムーズです。玄関ホールを下

以上、3つの事例をご紹介します。

靴をはきかえる場所をどこに、どのように設定するかについて、園によって考え方が異なることがわかります。

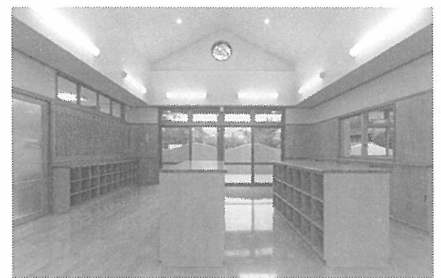
①家と同じように、「玄関で」靴を脱ぐことを大切とした考え方

②玄関と事務室の配置を重要視する考え方

③園庭への出入りなど、日中の園児の動きを重視した考え方は靴をはきかえる場所は以上のような考えだけでなく、園の規模や敷地の条件によっても変わってきますが、その設えによつて、生活リズムや園児・保護者・保育士の関わりなど、園の運営にも関わってくるようです。

本稿では、「どこで靴をはきかえますか？」についての検討をまとめました。私達は保育園・幼稚園の設計にあたって、それぞれの行為を丁寧に捉え、子ども達が一日を過ごす場所におさわり園舎を設計したいと思っています。

備考（*1）「建設通信新聞 公式記事プロジェクト 滋賀県守山市、浮気保育園改築の建築家：築地設計事務所の委託で完成したコンペを実施した結果、藤本壮介氏、東島謙太氏、設計事務所「築地設計事務所」が選定された。次点は竹田氏（設計）と丸山氏（設計）が選ばれた。2014年1月～4月に設計業務を完了し、6月竣工後の竣工、2015年4月の供用開始を目指す。



▲お迎えの時間、西側の壁面に設置したステンドグラスが玄関を彩ります